

新しい形を模索して

新しい形を模索して

自治会長代理 石田 清造

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、会議を開催するのもままならず、四月当初の自治会総会も書面議決という異例の形を取らざるを得ませんでした。地域交流センターなどまがりも、三月と五月にかけて閉館することとなり、地域住民交流の場が失われてしまつた感じです。

国の緊急事態宣言解除を受け、学校・園も再開し、六月からようやく少しずつ日常が戻りつつある状況です。花咲くまちづくり活動やシナリオのない防災訓練などを実施し、自治会の活動も、少しずつ進められるようになりました。

残念ながら楽しみにして頂いていた夏祭りや、秋祭りの神輿巡行は実施できませんでした。

敬老会については、集会所での会食などは行わず、自治会長のメッセージと記念品を対象者一百八十名全員にお届けするという形でお祝いの気持ちを表すことに致しました。今までと同じ形で事業は行えなくとも、今出来る形での事業の進め方を模索しながら、自治会活動を進めていくようにしていきたいと思います。皆様方のご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願い申しあげます。

石田ななまがり

令和2年10月2日

発行責任者
石田自治会長

自治会の動き

緊急連絡にて各戸配布されています

重複となりますが10月の予定をお届けします

- 10月 4日(日) シナリオの無い防災訓練 明見の郷
- 10月 10日(土) 花咲くまちづくり運動
- 10月 10日(土) 協議員会
- 10月 15日(木) ばあばくらぶ
- 10月 31日(土) 石田町自主防災訓練事前説明会



人権学習会 9/19

シナリオの無い防災訓練 寺の中 7/26 西町 8/23



地域の話題から

寺の中地蔵盆開催 石田 和正
恒例の寺の中地蔵盆が八月二十日(土)に開催されました。今年は新型コロナウイルスのため、大幅に内容を変更されました。
①「ご住職による「おつとめ」は行う
②密になるため、お楽しみ抽選会、ビール販売は中止する
③参加者は協議員組長女性部役員子供会役員とする。また子どもたちは子ども会の意向を踏まえて参加はしない
朝早くから役員の方々による準備、午後四時より開催。会長の挨拶、淨満寺ご住職による「おつとめ」、等で五時閉会でした。
役員の皆様に感謝し、来年はぜひ従来通りを期待しております。

稻刈り体験

石田営農組合 石田清造

九月二十一日(月)に石田営農組合と自治会の連携事業として稻刈り体験を行いました。春の時期は、新型コロナウイルス感染拡大で、学校・園が休業中だったので、田植え体験は出来ませんでしたが、感染拡大が一定の収まりを見せている状況なので、稻刈り体験は実施しました。少し雲があり、それ程暑くはなかったので、稻刈りにはちょうど良いお天気でした。

営農組合の代表理事や自治会長の挨拶の後、作業開始です。稻を刈り取る音が軽やかで、心地よさを感じました。いきいきクラブの方などが手伝ってくださり、刈り取った稻を束ねて道路沿いにかけました。三十分ほど稻刈りをした後、記念撮影をし、休憩です。ボランティアの方が用意してくださったかやくごはんをいただきながら、昔ながらの農作業のゆつたりとした趣を味わっていましただけたのではないかと思ひます。帰りには、目の前に見える石田営農組合のハウスで、朝収穫した小松菜をおみやげに持つて帰つていきました。年末には収穫した餅米を使って餅つきを行いたいと思つています。皆さんお楽しみに!



祝 敬老

令和2年度 石田町敬老会が72才以上の方を対象に開催予定でしたが 今年度お祝いの会はコロナ感染症対策で中止 対象者280名に 自治会長のお祝いメッセージと紅白饅頭を 各町内女性部の皆さんにお祝い訪問をして下さいました。

石田町の 最高齢者 西の堂町の 森岡さん 103歳

北町 石田 さん 88歳

南町 石田 さん 88歳

西町 貞永 さん 88歳 の方に

守山市長からお祝いが届きました。 おめでとうございます！



地域交流センターななまがり通信

高齢者の居場所ななまがり コロナウイルス感染症対策 三密 ソーシャルディスタンスで開館 楽しそうな笑い声が聞こえこきます

元気な笑顔が安否確認です～ ななまがりボランティア が待っています！！



いしだばあばくらぶ通信

子育て支援 ばあばくらぶでは 未就園のお子様とお父さんお母さんと毎月第3木曜日午前10時～12時まで自治会館で楽しく交流しています。

コロナウイルス感染症対策自粛要請が解除され再開 申し込みはいりません～

一緒に楽しく遊びましょう～

10月15日木 ばあばファームで芋ほりしましょう！！

汚れてもいい服装で ご参加下さい！！

11月19日木 市民公園でどんぐり拾い

12月17日木 ばあばクリスマス会

ばあばが いつでも待っています



ひとわれも何を求めて来らならん多賀の参道夏のかげやう
朝採りの茄子トマトの色合いに何はともあれ夫婦善哉
夏空に秋の気配の雲浮かび立秋近きと思うこの頃

石田
岩田
瀧谷
守正凡

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大は、私たちの何気ない日常生活がいかに大切なものであつたかを痛感させられました。

三密を避けた感染防止という中においての社会活動は、私たちにその多くの部分において大きな制約を受けることを経験しました。自治会活動においても、その基本である人と人とのコミュニケーションが制約されたことにより、多くの事業が縮小、中止に追い込まれました。しかし一方では、今回のコロナ禍は私たちに自分の職業や地域活動のあり方、家族と過ごす時間の大切さを考える機会となつたことは、間違いはありません。

「夜が明けない朝はない」という言葉もあります。苦難はまだまだ続くと思いますが、この危機を少しでも前向きに捉えることで、私たちは前進できると思います。頑張りましょう。

運営メンバー

岡本興宣（代表）

石田和正 石田清造
中川幸子 田中良信
本郷みちる

題字は初回発行の新聞から
故 中西八十二様 筆による